

防災対策の充実を求める請願書

提出 令和8年8月28日

亀山市議会議長 岡 本 公 秀 様

請願者

亀山市本丸町585番地
亀山市PTA連合会

会 長 上 村 幸 世



亀山市中庄町1405番地
亀山市小中学校長会

会 長 三 谷 敏 央



亀山市上野町14-11
三重県教職員組合鈴鹿亀山支部

支部長 谷 口 哲 也



紹介議員

櫻 井 清 蔵

草 川 卓 也
那 部 孝 坦

深 水 隆 司



【請願趣旨】

2025年3月31日、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループの報告書が防災担当相に手渡されました。想定される死者数は最悪の場合29万8000人、津波によるものが最も多くなると予想されています。防潮堤の建設や津波避難タワーの整備など、迅速な避難にむけたとりくみがすすんだにも関わらず、死者数が前回の予想32万人から8%ほどの減少にとどまっています。

災害は、いつどこで発生するかわかりません。特に避難所の運営に関しては、それぞれの自治体が施設やスペース、資材、人材を十分に確保するためにも、国からの財政的支援の充実が不可欠です。避難生活などで体調を崩して亡くなる「災害関連死」の防止をはじめ、性やプライバシーに関する課題への対応、外国人、介助・介護が必要な高齢者、障がい者、女性、乳幼児への配慮など、まだまだ改善すべき課題は山積しています。亀山市でも、震度6強が予想されています。しかし、避難所になっている小中学校の体育館へのエアコンの未配置の現状があります。夏場の避難の際に、熱中症等二次的な被害を避けるためにも、防災対策の更なる充実を求めます。

過去の災害に学ぶとともに、「三重県災害時学校支援チーム」の支援活動をつうじてえられた経験や知見をいかし、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実することを強く望むところです。

以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実を強く切望するものです。

【請願事項】

子どもたちの安全・安心を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をはかるよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。